

自由研究の内容と顕微鏡講座を受けてきた感想

○研究の内容

まず、自由研究で何をしたのかを簡単に書いておきます。

テーマ 「気孔の研究」

- 動機
- 研究に必要なだった器具
- 研究に使用した植物の紹介
- 気孔についての疑問とそれに対する研究課題
- 研究方法

● 課題1 「気孔の種類」

- 気孔の種類を調べる
- 観察した気孔を分類

● 課題2 「気孔の分布」

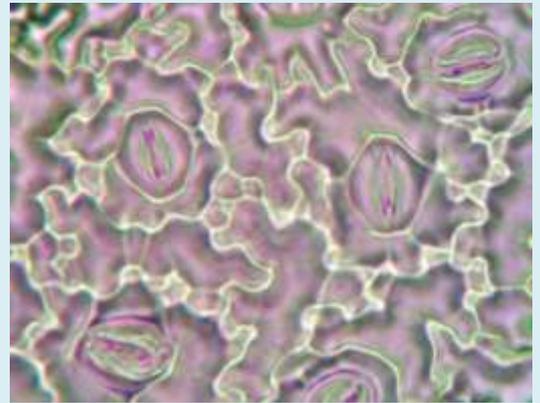
- 葉の表と裏の気孔の数の比較
- 花卉、がく、果実にも気孔はあるのか？
- 葉以外の部分にも気孔が分布する理由

● 課題3 「分類からわかる共通点」

- 外見について
- 暮らしている環境について

● 研究をふりかえって

↓観察した気孔の写真



○自由研究、顕微鏡講座を通して思ったこと

日常生活の中で草や木の葉っぱを一度もみたことがないという人はいないと思います。しかし一般の人の中で葉っぱを見て、いきなり気孔がどうのこうの考える人も少ないと思います。池の水などでも同じです。池があって、その水を見て突然プランクトンについてあれやこれやと思う人も少ないと思います。

しかし、この「考えない」だとか「思わない」というのは、必ずしも「興味がない」ということではないのかもしれないと思います。もちろん、誰にでも好き嫌いはあるので興味がないという人がいてもそれはごく普通のことですが、その一方で「知らない」だけという人がとても多いように感じています。

なので一度こういう講座に足を運んでみるのもいいのかなあとと思います。講座はとても自由な雰囲気の中で受けられるし、館長をはじめ、科学館の方々は

とても協力的です。むこうからあれをやれこれをやれとおしつけられるようなことはないし、逆に、自分でやりたいと決めたことがあればすごいサポートしてくれます。

僕も顕微鏡講座を受ける前は「知らない人」でした。しかし、講座を受けて、とても小さいけどとてもおもしろい世界と出会うことができました。

僕はもう講座を卒業ですが、顕微鏡を使った研究はこれからもいろいろやっていきたいと思っています。終わった後そんなふうに思えるような講座でした。

生命の海科学館顕微鏡講座受講生 鈴木惟槻